

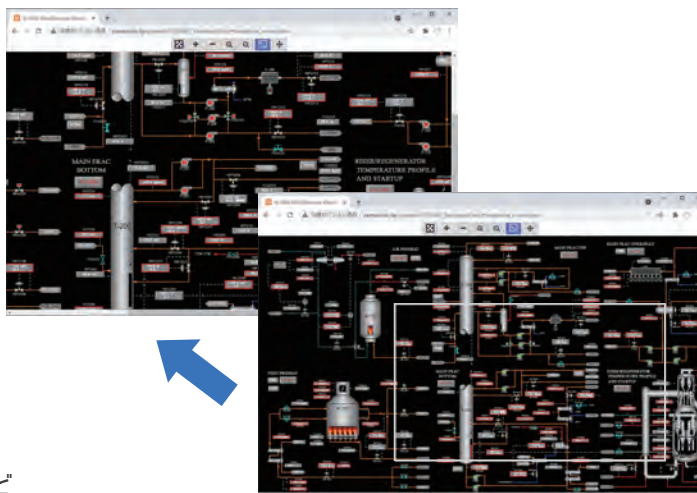
■ 監視制御システムのグラフィック操作画面を比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換できる SL-GMS Web/Developer の新バージョン 3.0a をリリース

多彩なグラフィック機能を追加し、高対話性でコンテンツリッチな操作画面の Web 運用をさらに強化

2021年9月21日 ニュースリリースより

リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする SL ジャパンは、昨年9月に HTML5 対応の新製品 V1.0a として SL-GMS ラインアップ (C++, Java, .NET) に追加した SL-GMS Web/Developer の新 V3.0a をリリースしました。下記の多彩なグラフィック機能を追加し、さらに高度な Web 運用監視制御システムまたは監視ダッシュボードをより容易に実現できます：

- コールバック機能でグラフやテーブルから詳細画面へドリルダウン
- 複数の画面レイヤ機能でオブジェクトの可視性を変化
- 連続ズームと矩形で領域選択ズーム
- 実行中に画面上のイメージを動的に置き換え
- Leaflet 地図画面に動的グラフィックオブジェクトをインスタンスなど



新 V3.0a で連続ズームや矩形で選択領域ズームが強化された SL-GMS Web/Developer (HTML5) の比類なく高速なズーム/パン

SL-GMS Web/Developer は、従来の SL-GMS 製品 (C++, Java, .NET 版) と共通の SL-GMSDraw エディタで作成した監視制御システムのグラフィック操作画面を、コードジェネレータを使って比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換し、Web 運用することを可能にした新製品です。これにより、制御室と同じコンテンツリッチで高対話性のグラフィック監視画面を Web ブラウザでクラウド運用でき、ローカル運用と同等の高い性能で、異種 OS パソコンの他、スマートフォンやタブレットなど幅広い端末からアクセスして操作できます。

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2021/sl_j_news_210921.shtml

☆「SL-GMS Web/Developer 新バージョン 3.0a ハイライト」デモビデオ (2:25):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/sl_gms_demovideos.shtml?id=WD30a_new_features

SL-GMS Developer for .NET 新バージョン 5.3a をリリース

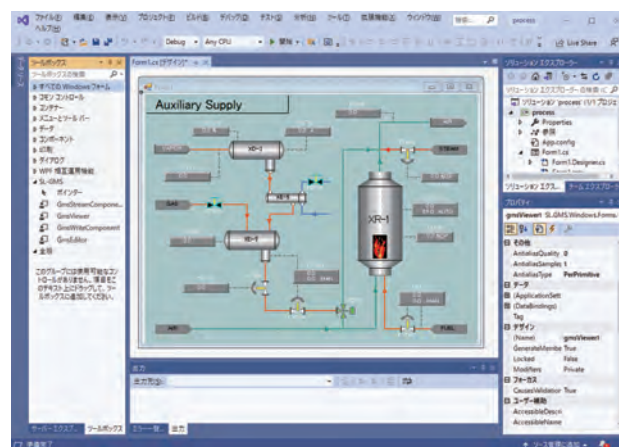
比類なく Web/リモート運用に強い監視制御システム (DCS/SCADA) のダイナミック GUI と専用カスタムエディタの開発

2021年5月31日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、.NET Framework における Visual Studio を使った開発に特化した SL-GMS Developer for .NET ならびに Custom Editor for .NET オプション製品の最新 V5.3 をリリースし、比類なく Web/リモート運用に強い監視制御システムのダイナミック GUI/HMI と専用カスタムエディタの開発をさらに強化しました。

新 V5.3a では、これまでの V5.2a に続き、.NET Framework の最新かつ最終とされるバージョン 4.8 でのリリースで、最新の Windows 10, Windows Server 2019, Visual Studio 2019 をサポートしています。また、.NET コントロールに可視性・探知性のリネーム変数を追加、これに伴う変数バインディングサンプルを更新、1回あたりのズーム率を変更できるビューマネージャの「ズームパンステップサイズ」プロパティが追加されています。

SL-GMSDraw エディタでデスクトップ運用に開発した同じ高対話性で高性能なダイナミックグラフィック画面を、変更することなくローカル運用と同様にサクサクと Web またはリモート運用できます。



Visual Studio 2019 にインストールされる SL-GMS Developer for .NET コントロール

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-co.jp/newsevents/newsrelease/2021/sl_j_news_210531.shtml

制御室から Web で遠隔監視、HTML5 でクラウド運用ダッシュボードまで



SL ジャパンは、去る 7 月 13 日～15 日にオンラインで開催された ARC アジアフォーラム 2021 にスポンサー出展し、中央制御室から、Web で遠隔監視、HTML5 でクラウド運用ダッシュボードまでに至る、監視制御システムの可視化をご紹介します。

☆「.NET 版 SL-GMS でリモートデスクトップ運用しているグラフィックシステム図を HTML5 に変換して Web 運用」デモビデオ(2:38) :

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/gmsweb/WebDev_PetroleumPlant/WebDev_PetroleumPlant.html

国内で 1990 年代に開発された制御システムが更改を経て今もなお稼働するロングセラーの C++ 版 SL-GMS から、リモートデスクトップ運用、Java 版と .NET 版 SL-GMS による Web 運用で、管制センタや制御室を越えたシステムがこの 20 数年展開され、IoT の先駆けとなってきました。そして今、HTML5 版 SL-GMS 新製品がクラウド運用の監視を促進します。

従来の C++, Java, .NET 版製品と共通の SL-GMSDraw エディタを使って開発した同じ高対話性のグラフィック操作画面を、コードジェネレータによってコンパクトで高性能な HTML5 に変換して Web 運用できます。

モノの監視“Monitoring of Things”を専門としてきた SL の突出した可視化技術によって、デスクトップ運用で開発した同じコンテンツリッチで高対話性のコンパクトな SL-GMS グラフィック操作画面を、ローカル運用と同様、比類なく高速に Web/リモート運用できます。

☆参考資料 - 月刊「計装」2020年12月号掲載記事「スマート可視化(HMI)の実現～HTML5で制御室からクラウドへ」:

<https://www.sl-j.co.jp/products/resources/keiso2012sl-j.pdf>



全社展開などで活用される RTView のロールベースセキュリティ

クラウド運用されている RTView のディスプレイサーバにロールベースセキュリティを使ってアクセスし、フィールドからマネジメントまで、モバイルで高対話性の監視ダッシュボードを閲覧操作

ディスプレイサーバをクラウドで運用し、全社的、全工場、全国やグローバルに監視ダッシュボードを展開してクラウド運用されている RTView では、管理者向け、社内オペレーション向け、フィールドサポート向け、顧客向けなど、表示を許可する画面と禁止する画面を、職務役割別の「ロール」として定義できます。

ログイン名、パスワードで識別するユーザ毎に定義されたロールを割り当てることで、各ユーザに対する RTView の画面表示を完全に制御する「ロールベースセキュリティ」が利用できます。

画面の表示制限定義はロール定義の XML ファイルに、ユーザ情報はユーザ定義の XML ファイルに、任意のテキストエディタで記述します。また、ツリー、アコーディオン、タブコントロールでは、ロールに応じて制限されている画面に関連した要素の表示を制御できます。

そして、RTView ディスプレイサーバによる高対話性のシンクライアント運用でロールベースセキュリティを適用するには、RTView 製品にバンドルされている Tomcat などのアプリケーションサーバへ、ログインユーザ名とパスワードを追加して連携します。

☆「DCIM とサービスの状況を、iPhone で監視するクラウド運用の RTView ダッシュボード」デモビデオ(1:19)

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv_demovideos_new.shtml?id=DCIM_iPhone



Real-Time Visibility

年3回発行 2021年9月22日発行 通巻70号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。